

ベトナム・ホーチミン駐在日記

番外編 2023―帰国後のベトナムとの繋がりなど

機二60 枝廣 哲志



7・8月号から2022年5・6月号に不定期で4回にわたり記事を掲載していただきました。

今回はベトナム明専学友会と帰国後の私の繋がりを中心に書き記します。

《ベトナム明専学友会について》

私は2022年12月まで、小型モーターや関連するユニットを生産する日系企業で金属部品の量産に使用するプレス金型の設計をしていました。そして2018年4月から2022年9月まではベトナム南部の都市ホーチミンにある現地法人に赴任して、ベトナム人の若手技術者に金型設計やプレス工場の改善などを指導していました。その間に明専会の海外組織であるベトナム明専学友会の立ち上げに携わることになったのですが、その話題やベトナムでの日常生活などについては明専会報2019年

います。

活動内容は会員相互の情報交換や懇親の他にも、新規赴任者に対するフォローやベトナム人留学生への支援を会則に掲げています。しかし会の発足から日が浅いこともあり実際には留学生支援活動は行われていませんでした。

《日本在住のベトナム人留学生OB・OG》

メンバーの一員である Tran Thi Hong xun (D情シH27・注1)は2015年に情報システム博士課程を卒業後、奈良先端科学技術大学を経て現在は大阪公立大学に勤務しています。今まで Hong さんに会ったことがなかった私は、2023年10月に大阪で行われた工業展示会に参加した時に Hong さんと連絡を取り、一緒に夕食を摂ることにしました。そして日本在住ベトナム人メンバーと明専会地方支部が繋がるきっかけになればと思い、大阪支部長の新宅秀信君(機59・注2)にも夕食会に加わってもらいました(写真1)。

また大阪の太陽光発電関連企業に勤務する Pham Xuan Khiet xun も

学友会の一員です。2023年夏に行われた明専会大阪支部行事に彼も参加していましたが(写真2)、現在は家族を日本に残して母国ベトナムに長期出張中です。



写真1：大阪心斎橋のレストランにて
(左から新宅・Hong・枝廣)



写真2：明専会大阪支部行事にて
(左：新宅・中央：Khiet)

(注1) ベトナム人の氏名は3〜4の部位から構成されます。Tran Thi Hongさんの場合、先頭のTranが姓で、次のThiは女性を意味しますが、Hが付かない女性もいます。そして末尾のHongが呼び名になります。ちなみにHongはバラ色を意味します。

(注2) 実はこの新宅君こそベトナム明専学友会発足のきっかけとなった重要人物なのです。関心がある方は明専会報バックナンバーから2019年7・8月号をご覧ください。

《現役ベトナム人留学生・研究者》

ベトナム明専学友会は国内の明専会支部と同様に卒業生が構成メンバーとなつています。しかし国内支部とは異なり卒業生がそのまま各地の支部に入る仕組みがない海外学友会では、現役の学生さん達に学友会の存在を知ってもらう必要があります。

2023年11月に母校を訪れることになった私は、九州工業大学国際本部の若林俊郎様の協力を得てベトナム人留学生に会う機会を作っていただきました。2023年秋現在、九州工業大学には戸畑キャンパスに7名、若松キャンパスに6名のベトナム人留学生や研究者がいます。

11月13日午後、戸畑キャンパス内

にある物質工学研究系の坪田敏樹准教授の研究室で6名のベトナム人に出会いました(写真3)。多くの人は博士課程に所属していますが、他大で修士・博士課程を終えて研究者として在籍している人やインターンシップでベトナム国内の大学から来日している人もいます。研究室内では英語で意思疎通をするため日本語が話せない人も多いのですが、Trink Kieu Trangさんは日本語検定3級を取得しています。お子さん連れで来日して研究を行っている人が複数いたことも印象的でした。



写真3：坪田研究室にて
(左から Xuan・Trang・Thao・Viet・坪田准教授・枝廣・Anh・Duc・若林様)

その後若松キャンパスに移動し、生命工学研究系の井上創造教授の研究室でNgo Hoang Anh Vyさんに出会いました(写真4)。彼女はホーチミン市工科大学より国費留学特別プログラムで来日しており、看護師の動作解析を研究している修士2年生です。今回はお会いできませんでしたが、Vyさんからの紹介で和田研究室の修士2年生 Tran Anh Taiさんにも連絡がとれました。彼は来春卒業と同時に日本企業に就職し、福岡で生活を始めるそうです。

なお戸畑・若松の両キャンパスでは海外留学生を対象とした初心者向け日本語講座も開催されており、日本語会話や漢字なども学べるそうです。

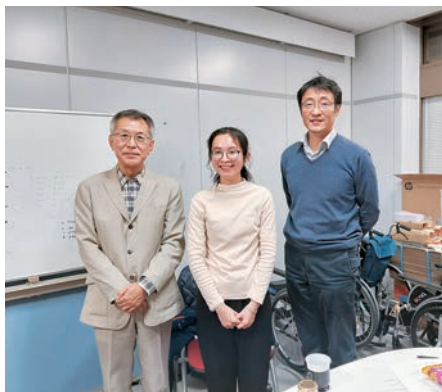


写真4：井上研究室にて
(左から枝廣・Vy・井上教授)

坪田准教授、井上教授ともに長年海外からの留学生を受け入れている担当教官だけに、ベトナム明専学友会にも好意的な対応をしていただきました。その結果今回知り合うことができたベトナム人8名全員が在学中はベトナム明専学友会の準会員として、卒業後には正会員として参加することになりました。

《家族でベトナム旅行に》

私がベトナムで生活していたのは4年半ですが、その前半は中国へ長期出張などで自分自身が落ち着かず、後半は新型コロナウイルスで世界中が混乱の最中でした。そのため私の駐在中に一度も家族をベトナムに呼べなかったのが心残りでした。そこで帰国後コロナ禍が落ち着いてから妻と一緒にベトナム旅行を計画したところ、親戚からも同行したいという声があがり、妻の甥(小学校5年生)から妻の母(81歳)まで幅広い年齢層の6名で、2023年8月下旬にベトナム旅行に行くことになりました。

旅行日程は3泊5日で、ホーチミン市の中心部にあるコロナリアル建築



写真5：メコンデルタを手漕ぎボートで巡るツアー

で有名なホテルに滞在して市内や郊外を観光しました。熱帯の肥沃な大地に広がるメコン川のデルタ地帯に行き手漕ぎボートでジャングルを巡るツアーに参加したり(写真5)、ホーチミン市内を巡る二階建て観光バスに乗ったり(写真6)と、ここまでは一般的な観光客が巡るコースでしたが、夜はベトナム人の友人に観光客が行かない地元の海鮮レストランに連れて行ってもらったり(写真7)、以前の勤務先を訪問して(写真8) 食事会に招いていただいたり(写真9)、普通の観光では訪れないような箇所にも足を延ばしました。



写真7：ホーチミン市内の海鮮レストランにて



写真6：オープントップの二階建て観光バスと宿泊したホテル

ベトナム明専学友会発足当時からメンバーである沖重明君(化H3…写真10)にも会えたり、ホーチミンで同窓会の会合を開催する際にいつ



写真9：勤務先の仲間達に食事会に招かれました



写真8：ベトナム赴任当時の勤務先にて

も利用する日本料理店(注3・写真11)にも顔を出せたり、家族も私にとっても大変充実した5日間になりました。



写真11：九州酒場「勝」にて(左端が店長の佐々木さん+家族親戚計6名)



写真10：学友会の仲間(右：沖君)が会いに来てくれました

(注3) このお店、九州酒場「勝」がホーチミンでベトナム明専学友会の会合を行う際の定例会場になった理由は、明専会報バックナンバー12020年3・4月号をご覧ください。長崎ちゃんぽんと皿うどんが美味しく、駐在日本人だけでなくベトナム人にも親しまれているお店で、ベトナム人には各種フレイバーの鯛焼きが大人気だそうです。

《明専会の海外組織について 思っている》

先に記したようにベトナム明専学友会の人員構成は日本人とベトナム人がほぼ半々になっています。一方ベトナムよりも先に作られた中国北京・タイの海外同窓会組織は、発足時の経緯から北京の学友会は中国人が中心となり、タイの学友会は日本人出向者が中心となつて、構成メンバーに大きく偏りがあると聞いています。

海外の同窓会組織を継続・発展させるには、構成人員のバランスが鍵になると私は考えています。日本人のみの組織では赴任者の帰国により組織の存続が危うくなる危険性があり、外国人のみの組織では大学や明専会本部との繋がりが弱くなるからです。そんな面でベトナム明専学友会の活動が、今後世界各地で新たに作られるであろう海外同窓会組織の参考事例になれば、と思っています。前述の井上教授からは、全世界の大学国際化ランキングで九州工大の順位は現状低迷しているも、大学の海外同窓会組織が機能すれば順位は

自ずと上がってくる、とのご意見も伺っています。

今回はベトナム明専学友会の活性化のため、現役留学生へのアプローチや日本在住のベトナム人OB・OG訪問などを行いました。ベトナム駐在から帰国した元メンバーのネットワークも再構築して、日本側の留学生支援体制も整えていきたいと思つています。例えば留学生が学会などで日本各地に出向く時に、その土地に住むベトナム出向経験者が現地でフォローしたり、日本で就職するベトナム人卒業生にとつてその地に知人がいれば多少は心強いのでは、と思います。

《最後に》

私は台湾、中国そしてベトナムと合計10年間、海外で仕事をしていました。その間それぞれの国で仕事の繋がりが以外にも多くの現地人の友達ができ、いろんな場面で手助けしてもらいました。その恩返しも込めて、ベトナム人留学生の皆さんに何かお手伝いできればと考えています。そして彼らが帰国するときに、日本に来て九州工大で学ぶことができ

良かったと思つてもらえれば幸いです。

今後ベトナム明専学友会の活動が活発になると、日本各地の明専会支部行事に参加するベトナム人留学生OB・OGも増えてくると思います。各地の明専会支部行事でベトナム人に限らず外国人卒業生を見かけたら、是非暖かく迎えてください。

◎皆さまへのお願い

記事をご覧になったベトナム在住卒業生の方、もしくはベトナム在住卒業生をご存じの方がいらっしゃいましたら、是非下記メールアドレスにご連絡ください。

●連絡先

E-mail: walk.edahiro@outlook.jp

(筆者連絡先)

E-mail: Ryutaro.Kuwamura@yaskawavn.com

(ベトナム明専学友会会長：桑村連絡先)